

鋼橋の理論と計算

フリードリッヒ・ブライヒ 原著

工 學 士

奥 田 秋 夫
綾 龜 一
猪 瀬 寧 雄

共 譯

最近土木工學名著翻譯

第 9 回 配 本

コ ロ ナ 社

D08.01
B
2240

昭和 39年 11月 16日

寄贈者 田中豊氏

鋼橋の理論と計算

第一卷

正誤表

頁 行	誤	正
II頁 上より 4行	第7編	第七章
4頁 上より 3行	第一章 鋼の荷重	第一章 鋼橋の死荷重
9頁 下より 1行	$[S(g+g)+S]$	$[S_0(g_h+g_f)+S_0]$
14頁 上より 14行	$g=50+2L$ $+0.01L \text{ kg/cm}^2$	$g=50+2L$ $+0.01L^2 \text{ kg/cm}^2$
32頁 上より 5行	雪荷重 70 kg/m ²	雪荷重 75 kg/m ²
34頁 上より 14行	不利な常数 $\frac{1}{3}$	不利な常数 $\frac{1}{4}$
43頁 上より 4行	これが 140° C	これが 14° C
54頁 上より 13行	$a \sum_{k=1}^{\infty} \frac{\frac{k\pi x}{l} \sin \frac{k}{a} \frac{k\pi cl}{l}}{k^5 \left(1 - \frac{a^2}{k^2}\right)}$	$a \sum_{k=1}^{\infty} \frac{\sin \frac{k\pi x}{l} \sin \frac{k}{a} \frac{k\pi cl}{l}}{k^5 \left(1 - \frac{a^2}{k^2}\right)}$
79頁 上より 13行	縮搾限界	壓縮限界
99頁 下より 3行	平均 250 t/cm ²	平均 2150 t/cm ²
100頁 上より 7行	1900%	1900 "
105頁 上より 6行	$\sigma_k = 2210 \left(\frac{i}{l}\right)^2 \text{ t/cm}^2$	$\sigma_k = 22210 \left(\frac{i}{l}\right)^2 \text{ t/cm}^2$
116頁 下より 10行	$\omega = \frac{\sigma_{ml}}{\sigma_k} \phi$	$\omega = \frac{\sigma_{ml}}{\sigma_k} = \phi$
121頁 上より 10行	$\beta_x = 2.70 - 3.30$ $\beta_y = 2.0 - 3.00$	$\beta_x = 2.70 - 3.30$ $\beta_y = 2.20 - 3.00$
124頁 下より 6行	= 7.6 t	= 37.6 t